

学校名	府立摂津高等学校	名前	
-----	----------	----	--

1 学校教育目標（めざす生徒像）

- 「常に前向きな姿勢で未来に夢や希望をもち、
- 自他ともにかげがえのない存在であることを自覚し、感謝の心・思いやりの心を育み、礼儀をわきまえ「人」としての心を大切にする学校。
 - 自主的に考え判断し、決断したことは積極的かつ誠実に実行する、その結果について責任をもち、失敗を恐れず努力し続ける生徒を育てる学校。
 - 生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培い、社会の構成員としてともに生きる心を養うべく社会奉仕の精神の涵養を育む学校。」

2 令和4年度の校内研究の取組み

（1）研究テーマ及び設定理由

①研究テーマ

観点別学習状況の評価のうち、特に「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点に関する資質・能力を育成する学習活動とその評価方法

②テーマ設定理由

観点別学習状況の評価の実施において、特に「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を見取る方法に課題があると考え、学校全体で共通理解を深め、信頼性と妥当性を高めた適切な評価ができるようにしていくため。

（2）校内研究の取組みについて

①研究の基本的な考え方・全教職員で共通理解したこと（明確化した今年度のポイント）

- （ア）観点別学習状況の評価に関して、同一科目を受け持つ複数の担当者の間で評価のポイントに差異がないよう留意していくこと。
- （イ）「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を見取るための工夫を全体で共有・蓄積し、理解を深めること。

②具体的な取組み

- （ア）校内の授業改善に関する取組み推進の中心を担う[授業改善委員会]を組織する。
- （イ）各教科において、授業改善に関する小グループ(なるべく学年で括る)を作成する。

社会科 実践発表資料(一部)



保健体育科 実践発表資料(一部) 「公共」授業風景→

保健

《黒板への板書、説明》から《グループワークによる調べ学習》へ

例) ヘルスプロモーションの説明

教科書 「ヘルスプロモーションとは、人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善できるようにするプロセスである。」

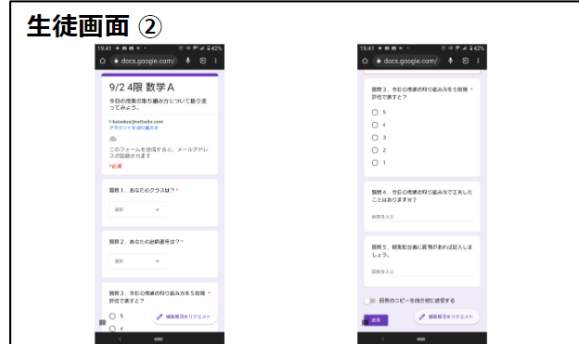
グループワーク
「みんなが健康になるように色々な組織がどう活動したら良いかを示す考え方」



数学科 実践発表資料(一部)

各授業の「振り返り」内容

- ① クラス
- ② 出席番号
(設定で「メールアドレスを収集」にしておいて個人を特定)
- ③ 「今日の取り組み方を5段階評価」
- ④ 「取り組み方で工夫したこと」
- ⑤ 「担当者への質問」



情報科 実践発表資料(一部)

振り返り

Googleフォーム

- 文字数順にソート可
- スムーズな採点

振り返り	振り返り	振り返り	振り返り
振り返り	振り返り	振り返り	振り返り

今日の授業で重要語句の実践等、学んだこと、今後の生活にどのように活かすか記述しましょう。

回答を入力

「情報 I」授業風景 ↓



主体的に学びに向かう態度

パフォーマンス評価

- 発表動画
- 制作物
- レポート

授業改善委員会発表（1月職員会議にて）旧カリと新カリの成績の散らばり具合の変化を分析

12月の交流会で

評定で5がつく生徒が少ないかも……

90点越えている生徒が出ていなかった。

成績の幅がぎゅっと狭まっている感じがする。



標準偏差 (Standard Deviation, SD) …平均点からの散らばり具合

Excelの関数STDEVP

SD 数が小さい…幅が狭い
数が大きい…幅が広い

成績の幅がぎゅっと狭まっている感じがする。

1月 授業改善委員会（ワールドカフェ形式のグループワーク研修）

「主体的で対話的で深い学び」のために

ジグソー法以外にも
おもしろいグループワーク
の手法はあるよ！

ワールドカフェ形式のグループワーク体験

1月26日（木） 16:00～17:00 会議室

**理科:実験動画を見て、実験結果を
仮説を立てて予測する！**



- ①年間を通し、職員会議の場で各教科のパイオニアグループからの実践発表を行うことにより、多種多様な取組みを共有することができた。評価に関する教科ごとの考え方の違いを見ることができ、教科をまたいだ授業改善の視点を持つことができた。
- ②授業改善委員会より、いくつかのグループワークの手法を紹介する企画を行った。実際に授業取り入れることを検討する先生もいて、参考資料を全体共有することで気軽に始められる環境を整えた。

○アンケート結果

項目	項目詳細	4月肯定的回答率	1月肯定的回答率
1	観点別学習状況の評価について考え方や進め方を私は理解している	51.3%	68.8% (17.5% UP)
2	観点別学習状況の評価について私は実施していける	46.2%	59.4% (13.2%UP)

表の通り、肯定的回答率が上昇した。具体的には、4月はどちらの項目についても「大いに思う」の回答率が0%だったのに対し、1月はどちらも12.5%に上昇したことから、1年の授業実践を通して、確信を持った先生方が増加したとみられる。

(2) 生徒の変容（授業改善により生徒にどのような育ちが見られるか）

- ①パフォーマンス課題や振り返り等で一人一台端末を活用する教科が増え、生徒の端末利用頻度が大幅に増えた。また、発表のためスライドや動画を作成し発表するような授業も増えたため、端末を活用したアウトプットの質も向上している。
- ②ペアワークやグループワークを取り入れる科目の増加により、生徒のワークへの抵抗がなくなり、以前に比べ机や席の移動、相互採点等にスムーズに移行できるようになった。指示がなくても教え合いを始める姿もよく見られるようになった。

グループワークを取り入れた数学の授業の様子→



- ③授業改善を重点的に実践している新教育課程1年生の授業アンケート結果において、1回目から2回目にかけてほぼ全ての項目で数値が上昇した。

(3) 教員の変容（授業改善により教員が何を学んだか・どのような感想をもったか）

パイオニアグループ交流会や職員会議での実践発表を通して

- ①観点別学習状況の評価における「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」を見取るための手法や工夫について、教科をまたいで参考になる実践を知ることができた。
- ②未だ試行錯誤の最中ではあるが、様々な教科の先生方の実践における苦労や工夫を聞いたり、自身の悩みを相談したりすることができ、自身の実践の後押しになった。

授業見学を通して

- ①他教科の授業を見学することで自身の教科の特性を再認識することになったし、取り入れていきたい授業展開の手法を見ることもできた。また、他授業での生徒の様子を見ることができ、自分の授業で見る様子と違いがみられ、興味深かった。
- ②色々な授業を見に行きたいが、自身の業務過多のため行くタイミングがつかめない。

1月アンケート結果

- ①ジグソー法を実際に導入してみた。
- ②他教科の取組みを見せていただき、大変勉強になりました。それらをどう自分の教科に取り入れていけるかが課題です。
- ③自身の授業にも ICT を取り入れていきたい。
- ④新教育課程に準じた入試対策をどうしていくのか取り上げて欲しい。(他教科の動向も参考にしたい)
- ⑤まだ新カリの教科を担当していないので、実施していません。
- ⑥1月の旧カリと新カリの評価の比較はとても参考になりました。
- ⑦旧カリとの評価の比較を実施していきたい。
- ⑧昨年度以前と今年度の算出成績の標準偏差を計算し、妥当性を調べました。

4 今後に向けて

(1) 今年度の課題

- ①[観点別学習状況の評価]に関して、実践とパイオニアグループ交流会を通し、1年生の科目を担当する先生方の取組みは進んだが、共有等は各教科に任せているため、それ以外の先生方の実践に貢献しきれていない面がある。
- ②職員会議での発表が会議終了後に設定されていたため、会議が長引いた際に発表が延期となるケースがあった。
- ③公開授業について、「まとまった期間を設定し、その期間いつでも見に行ってもよい」とした。授業見学に自由度を持たせる狙いがあったが、見学自体に行けていない先生も多数いたと思われる。
- ④授業改善委員会の全体会の出席人数は増えず、会によっては10人程度にとどまった。研究テーマを観点別学習状況の評価に関することとしたため、2、3年の授業担当者によっては「自分事」として捉えていないと考えられる。

(2) 次年度に向けて

- ①次年度は新教育課程2年めであり、[観点別学習状況の評価]に主体的に関わる先生の数も必然的に増える。各教科今年度の実践をモデルケースとして情報を共有し、流用できるものは流用して業務のスリム化をはかるよう推奨していく。
- ②発表の時間を職員会議の開始直後からの10分間に変更し、確実に時間を確保する。
- ③公開授業の目的を「生徒の様子を観察」と設定し、担任や担当クラスの他授業の様子を観察することに主眼を置き、授業見学の動機づけを行う。
- ④年度当初に教職員アンケートにて現在の自校生徒の特徴や傾向を出し合い、またそれに対してつけさせたい力を確認する。それをもとに授業改善委員会の年度目標を策定し、教員全体で策定した目標に対する取組みを意識させることによって、委員会の取組みが多く先生にとって「自分事」となるよう働きかける。

令和4年度 校内研修年間実施報告書

1 令和4年度の目標（テーマ・主題）

観点別学習状況の評価のうち、特に「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点に関する資質・能力を育成する学習活動とその評価方法の研究

2 実施日・内容等

月	日	校 内 研 究 の 実 際	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
4	1		職員会議にて連絡 ・年間研修計画の提示 ・観点別学習状況の評価に関するアンケート実施
	7		職員会議にて報告 ・アンケート結果提示 ・同一担当科目でのグループ作成と、パイオニアグループ指定およびその報告のお願い
	21		職員会議にて全体研修会実施 ・観点別学習状況の評価について
	28	第1回パイオニアグループ交流会 ・指導計画や実践例の共有	
5	12		職員会議にて実践発表 公民科 【ICT(ジャムボード)を利用したグループでのパフォーマンス課題】
6	23		職員会議にて実践発表 保健体育科 【考えたことを言語化させる】
7	20	第2回パイオニアグループ交流会 ・考査問題の工夫や1学期成績に関する情報共有 ・観点別学習状況の評価について(パッケージ研修支援)	
9	15		職員会議にて実践発表 数学科 【フォームを使った振り返り】

10	中旬～		<p>公開授業月間（11月中旬まで） パイオニアグループを中心に様々な教科で公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年英語コミュニケーションIで1年生全クラス公開 <p>授業改善委員会 研究協議 英語科 【Jigsaw法を使った表現活動】 (パッケージ研修支援)</p>
11	中旬まで		公開授業月間
11	24		<p>職員会議にて実践発表</p> <p>情報科 【ルーブリック作成の工夫】</p>
12	22	<p>第3回パイオニアグループ交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学期成績算出に関する情報共有 	
1	12		<p>職員会議にて連絡・報告</p> <p>指導教諭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度のこれまでの成績と過去2年の成績との比較分析 ・観点別学習状況の評価に関するアンケート実施
1	26	<p>第4回パイオニアグループ交流会</p> <p>理科 【ワールドカフェ形式のグループワーク活動】</p>	
2	予定		<p>職員会議にて報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月アンケートの結果報告と1年間の総括、次年度取り組みへの課題の共有

令和5年度 校内研修年間実施計画書

1 令和5年度の目標（テーマ・主題）

観点別学習状況の評価のうち、特に「主体的に学習に取り組む態度」を育成する学習活動とその評価方法（生徒の）の研究（粘り強く取り組む態度や学習を調整する態度）。

2 年間予定

月	日	校 内 研 究 計 画	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
4	初旬		職員会議にて、年間研修計画の提示 「本校生徒のイメージとつけさせたい力」アンケート 及び 観点別学習状況の評価に関するアンケート実施
	中旬		職員会議にてアンケート結果提示 同一担当科目でのグループ分けと、パイオニアグループ指定およびその報告のお願い
	下旬	第1回パイオニアグループ交流会 ・指導計画や実践例の共有	
5			職員会議にて実践発表・意見交流会
6			職員会議にて実践発表・意見交流会
7			職員会議にて実践発表・意見交流会
	下旬	第2回パイオニアグループ交流会 ・生徒の変容の見取り方や考査問題の工夫、1学期成績に関する情報共有	
8	下旬		職員会議にて実践発表・意見交流会 各教科によるパイオニアグループ実践共有
9			職員会議にて実践発表・意見交流会
	中旬	第3回パイオニアグループ交流会 ・前半の総括と2学期に向けた改善策の協議、共有 ・主体的に学習に取り組む態度の点数化に関する情報共有	
10	中旬	研究授業と研究協議	授業公開月間 「自身以外の授業での生徒の様子を観察するための授業見学」

10			職員会議にて実践発表・意見交流会
11		研究授業と研究協議 第4回パイオニアグループ交流会	職員会議にて実践発表・意見交流会
12	中旬	第5回パイオニアグループ交流会 ・生徒の変容の見取り方や考査問題の工夫、2学期成績に関する情報共有	職員会議にて実践発表・意見交流会 各教科による研究協議
1	下旬	第6回パイオニアグループ交流会 ・1年間の総括、次年度取り組みへの課題の共有	職員会議にて実践発表・意見交流会 今年度の取組内容に関するアンケートや 観点別学習状況の評価に関するアンケート